

平成29年度 岩出市一般会計決算状況について

○決算規模、決算収支

歳入総額	17,149,387千円	(前年度 16,668,617千円)	前年度比	2.9%増
歳出総額	16,669,501千円	(前年度 15,907,862千円)	前年度比	4.8%増
形式収支	479,886千円	(前年度 760,755千円)	前年度比	36.9%減
実質収支	438,846千円	(前年度 438,622千円)	前年度比	0.1%増

決算規模は、歳入歳出ともに前年度を上回りました。

また、形式収支(歳入歳出差引)及び実質収支(形式収支から翌年度に繰越すべき財源を控除したもの)は引き続き黒字となっています。

○歳入の状況

歳入総額は17,149,387千円となり、前年度と比較すると480,770千円、2.9%増加しています。

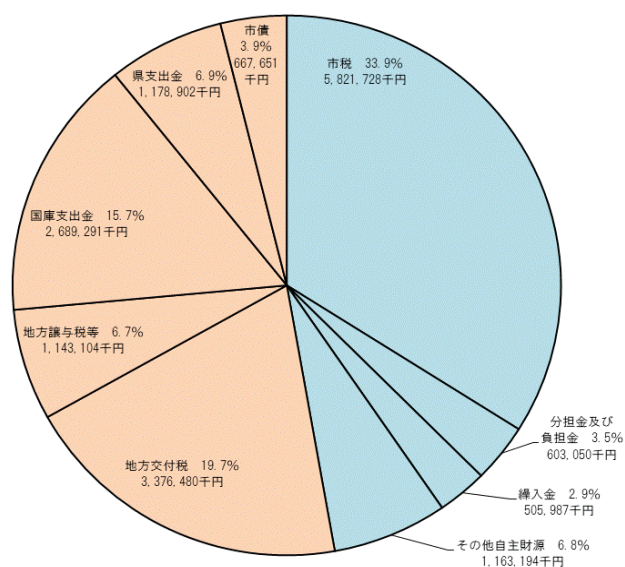
また、歳入の内、自主財源は8,093,959千円(全体の47.1%)となり、前年度と比較すると、市税及び繰越金等の増加により108,374千円、1.4%増加しています。

一方、依存財源は9,055,428千円(全体の52.9%)となり、前年度と比較すると、地方消費税交付金、国庫支出金、県支出金等の増加により、372,396千円、4.3%増加しています。

なお、歳入の内訳及び前年度との比較は以下のとおりです。

(単位：千円、%)

区	分	平成28年度	平成29年度	増減	増減率
自主財源	市税	5,706,737	5,821,728	114,991	2.0
	分担金及び負担金	654,101	603,050	▲51,051	▲7.8
	使用料及び手数料	181,890	186,523	4,633	2.5
	財産収入	24,492	33,167	8,675	35.4
	寄附金	120	3,028	2,908	2,423.3
	繰入金	650,971	505,987	▲144,984	▲22.3
	繰越金	547,823	760,755	212,932	38.9
	諸収入	219,451	179,721	▲39,730	▲18.1
	計	7,985,585	8,093,959	108,374	1.4
	依存財源	地方譲与税	121,181	115,487	▲5,694
利子割交付金		13,523	20,544	7,021	51.9
配当割交付金		33,314	45,503	12,189	36.6
株式等譲渡所得割交付金		16,628	44,365	27,737	166.8
地方消費税交付金		761,730	818,444	56,714	7.4
ゴルフ場利用税交付金		5,531	5,431	▲100	▲1.8
自動車取得税交付金		24,013	35,803	11,790	49.1
地方特例交付金		46,839	51,895	5,056	10.8
地方交付税		3,358,926	3,376,480	17,554	0.5
交通安全対策特別交付金		6,493	5,632	▲861	▲13.3
国庫支出金		2,564,133	2,689,291	125,158	4.9
県支出金		1,110,923	1,178,902	67,979	6.1
市債		619,798	667,651	47,853	7.7
計	8,683,032	9,055,428	372,396	4.3	
歳入合計	16,668,617	17,149,387	480,770	2.9	



自主財源 (全体の47.1%)
 …市が自主的に収入することができる財源

依存財源 (全体の52.9%)
 …国や県などから交付または割り当てられる財源

～歳入の主な増減要因～

- ・市税：固定資産税及び市民税の増
- ・寄附金：ふるさと納税の増
- ・繰入金：基金繰入の減
- ・株式等譲渡所得割交付金
 : 県内における株式等譲渡所得の増加に伴う県税収入の増
- ・地方消費税交付金
 : 県内における消費税の増加に伴う県税収入の増
- ・国庫支出金：障害者総合支援給付費等国庫負担金の増など
- ・県支出金：障害者総合支援給付費等県費負担金の増など

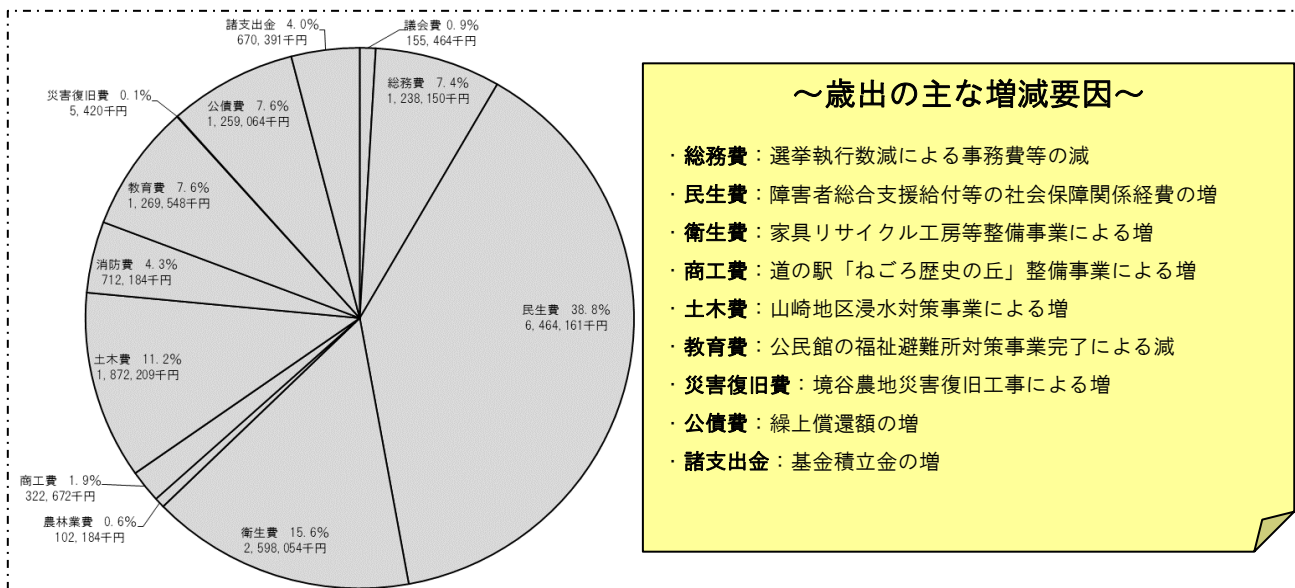
○歳出の状況

歳出総額は16,669,501千円となり、前年度と比較すると総務費、農林業費及び教育費以外の歳出区分で増加し、761,639千円、4.8%増加しています。

なお、目的別歳出の内訳及び前年度との比較は以下のとおりです。

(単位：千円、%)

区	分	平成28年度	平成29年度	増減	増減率
議	会	151,775	155,464	3,689	2.4
総	務	1,279,188	1,238,150	▲41,038	▲3.2
民	生	6,162,791	6,464,161	301,370	4.9
衛	生	2,564,069	2,598,054	33,985	1.3
農	林	108,657	102,184	▲6,473	▲6.0
商	工	144,613	322,672	178,059	123.1
土	木	1,711,407	1,872,209	160,802	9.4
消	防	656,783	712,184	55,401	8.4
教	育	1,334,527	1,269,548	▲64,979	▲4.9
災	害	0	5,420	5,420	皆増
公	債	1,231,992	1,259,064	27,072	2.2
諸	支	562,060	670,391	108,331	19.3
予	備	0	0	0	-
歳	出	15,907,862	16,669,501	761,639	4.8



○基金残高、地方債残高の状況

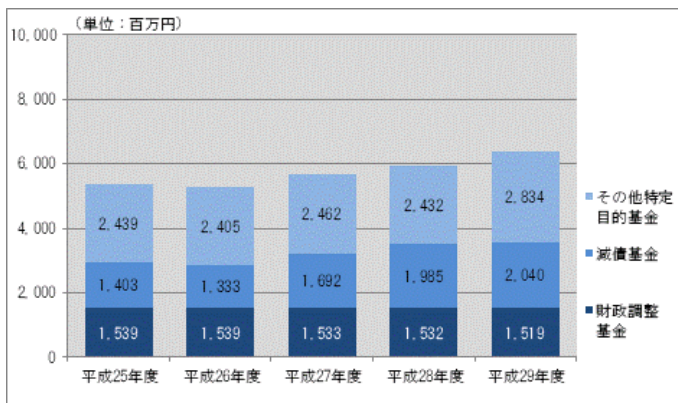
基金残高	6,392,967千円	(前年度 5,949,295千円)	前年度比 7.5%増
地方債残高	6,879,231千円	(前年度 7,400,003千円)	前年度比 7.0%減

平成29年度末時点の基金残高は6,392,967千円で、前年度と比較すると443,672千円、7.5%の増となりました。地方債残高は6,879,231千円で、前年度と比較すると520,772千円、7.0%の減となりました。

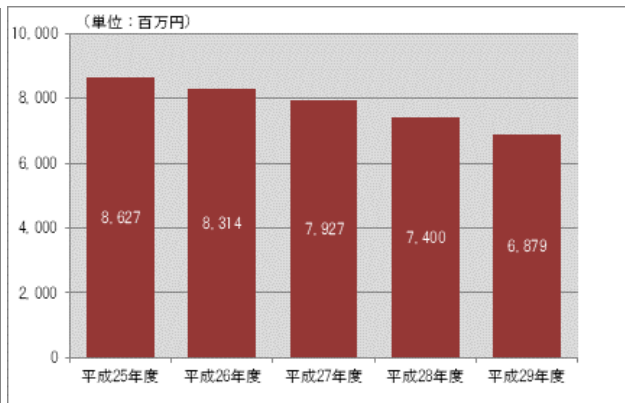
一般会計においては、基金残高は増加し、地方債の償還が進んでおり、健全な財政運営が図られています。

なお、過去5年間の残高の推移は以下のとおりです。

■基金残高の状況



■地方債残高の状況



○市民一人当たりの決算額

人	口	53,827人	(平成30年3月末時点)
歳	入	318,602円	(歳入のうち市税 108,006円)
歳	出	309,687円	

※表示単位未満は四捨五入しています。

平成30年3月末時点における人口は53,827人で、市民一人当たりで換算すると歳入は318,602円、歳出は309,687円となります。また、歳入のうち市民の皆さまから納付いただいた市税は一人当たり108,006円で、歳出の用途別は以下のとおりとなります。

区分	金額(円)	支出の内容
議会費	2,888	市議会の運営に要する経費
総務費	23,002	市の全般的な管理事務、徴税事務、戸籍住民基本台帳事務等に要する経費
民生費	120,091	児童手当、保育所運営等の児童福祉、後期高齢者医療給付等の高齢者福祉、障害者総合支援給付等の障害者福祉など福祉の向上に要する経費
衛生費	48,267	各種がん検診、予防接種等の保健事業、ごみの収集・処理、浄化槽の設置補助などの衛生事業等に要する経費
農林業費	1,898	農林業の振興や、農道・水路・ため池等の農業用施設の改修等に要する経費
商工費	5,995	産業振興や観光対策に要する経費
土木費	34,782	道路、河川、公園、公営住宅、下水道等の公共施設の建設改良に要する経費
消防費	13,231	防災訓練等の予防啓発、初期消防活動等に要する経費
教育費	23,586	小中学校教育、生涯教育に要する経費
災害復旧費	101	災害発生時に被災した農業施設、道路施設等の復旧に要する経費
公債費	23,391	市の借金(地方債)の返済に要する経費
諸支出金	12,455	市が継続的に事業を実施していくための基金の積立等に要する経費
合計	309,687	

預	金	118,769円
借	金	127,803円

※表示単位未満は四捨五入しています。

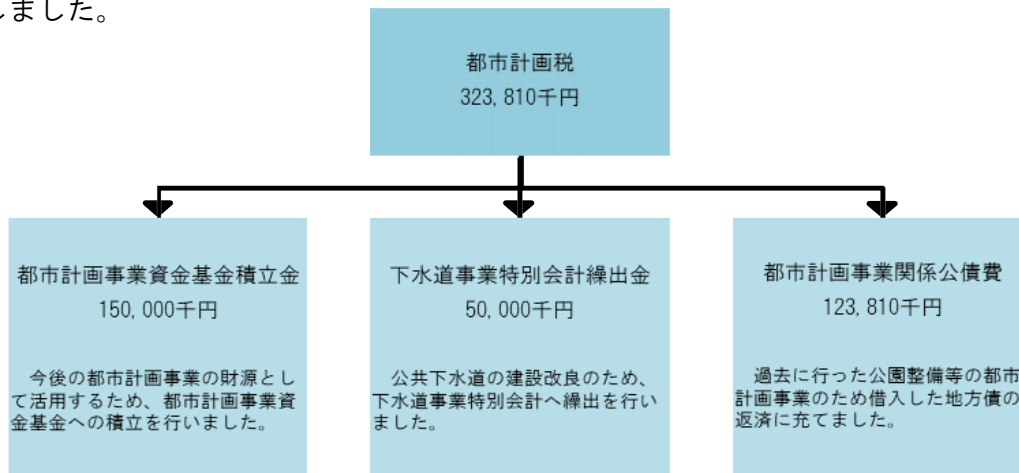
基金残高は一般家計における預金に該当し、市民一人当たりで118,769円となりました。また、地方債残高は一般家計における借金に該当し、127,803円となりました。

○目的税等の使途

都市計画税の使途状況

都市計画税は、都市計画事業・土地区画整理事業に要する費用の一部を負担していただくための目的税です。主な使途としては、街路整備事業、下水道事業、公園整備事業などがあります。

平成29年度の都市計画税（323,810千円）は、以下のとおり都市計画事業費等の財源として活用しました。



地方消費税交付金（社会保障財源化分）の使途状況

社会保障の安定財源の確保を図る税制の抜本的な改革を行うため、平成24年度8月に消費税法及び地方税法が改正され、平成26年4月1日から、消費税および地方消費税の税率が5%から8%へ引き上げられました。

この引き上げ分に係る地方消費税交付金については、全て「社会保障施策に要する経費」に充てることとされています。

平成29年度における地方消費税交付金818,444千円のうち377,413千円が社会保障財源化分であり、この収入については社会保障施策に要する経費の一般財源3,623,000千円の一部として活用しました。

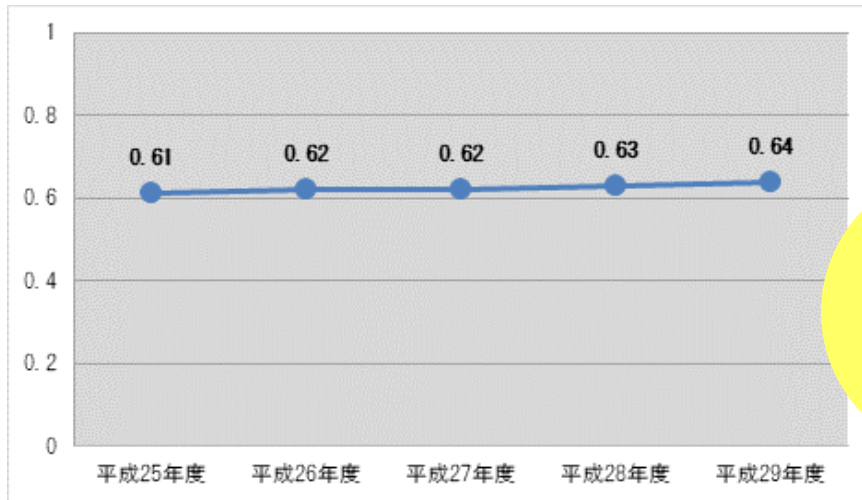
地方消費税 交付金 (千円)	うち社会保障 財源化分	→	社会保障施策 に要した経費 (千円)	うち一般財源
	818,444			377,413

※百万円未満四捨五入で表示しています。

○財政指標の状況

・財政力指数

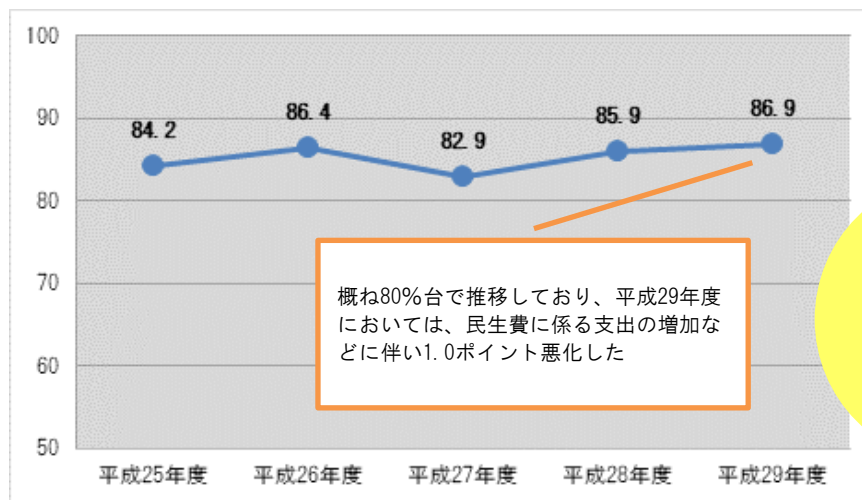
標準的な行政サービスを提供するためのお金(市税等)を市単独の収入で賄える割合



平成29年度
和歌山県内
9市中
2位
平均 0.52

・経常収支比率

借金の返済などの義務的な費用に、市税等の経常的なお金が使われる割合で、比率が低いほど財政にゆとり・柔軟性があることを表します。



平成29年度
和歌山県内
9市中
1位
平均 97.1

・健全化判断比率

各指標については以下のとおりとなり、実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は昨年度同様「なし」で、実質公債費比率は、3.5%となりました。

指標	内容	岩出市	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	なし	13.34%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別会計及び企業会計も含めた赤字の割合	なし	18.34%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	3.5%	25.0%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金など)の割合	なし	350.0%

※早期健全化基準を上回ると、財政健全化に向けた取組を進めなければなりません。